

平成 15 年度・R A C 事務局による総合学習支援

1. 大田区立嶺町小学校
2. 新潟県小千谷市立上片貝小学校
3. 東京都府中市立四谷小学校

1. 大田区立嶺町小学校における『子ども水辺安全講座』

[第1回目]

○日 時：平成15年6月6日（金） 13:30～16:00

○場 所：大田区立嶺町小学校及び多摩川

□講座内容

1) 水辺の危険と回避法（講義 60分）

川の構造・特徴と危険回避の方法

* 教職員と地域・PTAの方々を対象とした講義。2年前から川の総合学習を行なっているが、今回子ども達を初めて川に入れるのにあたり、まず大人から正しい知識を習得するというねらい。

2) 装備の使い方（屋外実習 30分）

ライフジャケット・スローロープの扱い方

* 昨年度の講師は、川遊びにPFDは不要と述べたらしいが、RACとしては、PFDの着用が大前提であることを講義した。

* スローロープは2人1組で投げる練習をしてもらった。一投目に失敗したあとのバタフライコイルまで指導。

3) 川体験（現場実習 40分）

※天候によってライフジャケット浮遊体験、スローロープ救助体験を行う

* 受講者全員で川体験。対岸の川崎市側に本流があることを確認。そこで流れたり、スローロープでのレスキューを体験した教員もいた。

* 子どもたちを対岸へ渡らせることが可能か、中洲まで安全に行けるルートを検証しながら40分ほど現場実習した。

□講 師

斉藤 隆（川に学ぶ体験活動協議会事務局長） 他サポート1名（佐藤ともえ）

[第2回目]

○日 時：平成15年7月4日（金） 13:00～16:00（※午前中に下見・担当教員と打ち合わせ）

○場 所：大田区立嶺町小学校及び多摩川

□講座内容

1) 講義「川の構造・特徴と危険回避の方法」(体育館)

* 5年生児童77名、教員23名のほか、地域・PTAの方々、講座のサポーターとして参加した日本体育大学カヌー部の学生約20名が受講した。

2) 実習: 装備の使い方(PFD, スローロープ・体育館)

* 学校で児童用のPFDを購入していた。
* カヌー部の学生でも、スローロープを扱うのは初めてという声がきかれた。

3) 実習: 川体験

* 学生や保護者のサポーターが多数参加したことにより、予定していたプランを変更。

①対岸まで歩く

②到達地点から下流まで流れ体験(約30メートル)

③流れた後、クラス単位でスクラムを組んだり、人間ダムを作るなどして団体で中洲まで移動。

④中洲からスタート地点まで歩いて戻る。

等、4つの課題を実施。教職員にとっても未知の体験だったためか、子ども以上に恐慌状態に陥ったケースもあった。RAC側と教職員との信頼関係が問われた。



※この2日間の講座の様子は、嶺町小学校のホームページで見ることが出来る。また、近隣の小学校にPFDの貸し出しも行なっている。

□講師・サポート

青木貴紳(財団法人ハーモニイセンター、RACリパーリーダー、レスキュー3SRT-1)

朝比奈佑(RACリパーリーダー、レスキュー3SRT-1)

佐藤ともえ(NPO小貝川プロジェクト21)

斉藤 隆(川に学ぶ体験活動協議会事務局長)



他

2. 新潟県小千谷市立上片貝小学校における『子ども水辺安全講座』

[第1回目] 安全実習「川で安全に遊ぶには」

○ 日 時：7月11日（金）午後2時～4時40分

○ 場 所：上片貝小学校 プール

☆対象学年：5・6年生（10名）以下同じ

① 体育館にて、川についての基礎知識を講義。その後、スローロープの投げ方、救助のされ方、PFDの着用の実習をした。

② 当日は雨天だったため川ではなく、学校のプールで行なった。全員でプールの中を歩いて流れを作り、PFDでの擬似流れ体験を実施。

③ セーフティスイム、アグレッシブスイムを体験。水泳が苦手でもPFDを着用することで楽に泳げることを実感していた。

④ プールサイドでスローロープの投げ方を再度実施した。



□講師・サポート

青木貴紳（財団法人ハーモニセンター、RACリハビリター、レスキュー3SRT-1）

佐藤ともえ（NPO小貝川プロジェクト21）

[第2回目] 信濃川Eボート川下り体験（川端の川原から長岡市の妙見堰を下る）

○日 時：7月29日（火）午後12時30分～4時20分

○場 所：信濃川

5・6年生を2つのチームに分けて2艇のEボート（グラブナー艇）で川下りを実施。ボートの組み立てから子どもたちも参加した。

川の中から眺める景色、緩急のある川の流れ、水辺の生物を観察した。ゴール地点ではボートの片付けまでやって講座終了とした。

□講師・サポート

青木貴紳（財団法人ハーモニイセンター、RACリバーリーダー、レスキュー3SRT-1）

橋本正法（NPO 地域交流センター）

斉藤 隆（川に学ぶ体験活動協議会事務局長）

佐藤ともえ（NPO 小貝川プロジェクト21）

[第3回目] 川の安全体験活動「信濃川で泳ぐ！」

○日 時：8月8日（金）午前10時～12時

○場 所：信濃川

□講習内容

第1回目に出来なかった信濃川での実習。

- ① 川原で川の流れの説明、フェリーグライドで目的地まで泳ぐことなどを説明。
- ② 対岸の『鯨の背』と呼ばれている岩場までフェリーグライドで到達。泳ぎの苦手な児童は講師がサポートした。
- ③ 対岸での活動・・・洞窟探検、洞窟から川へのダイブ、小魚の捕獲、生き物の足跡の観察、岩石・地層の観察など。
- ④ スタート地点へフェリーグライドで戻った。

□講師・サポート

青木貴紳（財団法人ハーモニイセンター、RACリバーリーダー、レスキュー3SRT-1）

佐藤ともえ（NPO 小貝川プロジェクト21）

[第4回目] 川の安全体験活動

○日 時：9月12日（金）午前9時30分～12時

○場 所：信濃川

- ① 児童との質疑応答…信濃川の水質等の質問。
- ② 今回はPFDを着用せず、シュノーケルとフィンを使用して川底の観察と川の横断を計画。装備後練習をしたが、川が前日の雨で濁っていたのと、シュノーケルを上手く使いこなすことが出来なかったため、PFDとフィンを用いて川を往復した。

□講師・サポート

青木貴紳（財団法人ハーモニセンター、
RACリパラーガー、レスキュー3SRT-1）

佐藤ともえ（NPO小貝川プロジェクト21）



4. 東京都府中市立四谷小学校における『子ども水辺安全講座』

[第1回目] 川の構造・特徴と危険回避の方法

○日時：平成15年9月5日（金） 16:00～17:00

○場所：府中市立四谷小学校

□講座内容 / 水辺の危険と回避法（講義60分）

*教職員と地域・PTAの方々を対象とした講義。2年前から川の総合学習を行なっているが、今回別の学年の子ども達を初めて川に入れるのにあたり、まず大人から正しい知識を習得するというねらい。

[第2回目] 浅瀬横断、ライフジャケット浮遊体験

○日時：9月8日（月）午後1時～4時

○場所：四谷小学校および多摩川

□講習内容

- ① 児童および当日サポートの保護者向けに、体育館にてPFD、スローロープの扱い方、川の構造などの基礎知識を講習した。
- ② 児童80名とPTA約10名、教職員約5名を対象に体育館にてPFDの使い方、スローロープの使い方を実習した。
- ③ 多摩川でクラスごとに川流れ体験。

手順1：1列で川に入り、人間ダム作りを体験。

2：本流にのってスタッフが待機している橋脚まで流れ体験。

3：橋脚の裏に回りトロ場を泳いで再び本流に戻り、スタッフのサポートを受けながら、岸まで徒歩で戻る。

□講師・サポート

青木貴紳（財団法人ハーモニイセンター、RACリバーリーダー、レスキュー3SRT-1）

朝比奈佑（RACリバーリーダー、レスキュー3SRT-1）

佐藤ともえ（NPO小貝川プロジェクト21）

斉藤 隆（川に学ぶ体験活動協議会事務局長）